

令和5年度第3回新温泉町総合教育会議議事録

- 1 日 時 令和6年2月16日（金）午前10時00分～11時40分
- 2 場 所 新温泉町役場 会議室
- 3 出席者
(構成員) 西村町長、宮口教育長職務代理者、山本教育委員
阪本教育委員、村尾教育委員
(事務局) 吉田こども教育課長、西脇生涯教育課長、樹岡こども教育課参事
桶本こども教育課課長補佐
- 4 会議録署名人
西村町長、宮口教育長職務代理者
- 5 協議・調整事項
 - (1) 児童生徒等の問題行動について
 - (2) 令和6年度の予算編成に向けて
こども教育課
生涯教育課
 - (3) その他

***** 開会 午前10時00分 *****

○吉田課長 皆さん、おはようございます。お忙しい中をお集まりいただきまして、ありがとうございます。ただいまから令和5年度第3回新温泉町総合教育会議を開会いたします。

この会議ですけれども、教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき開催するものでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、主催者であります町長よりご挨拶を申し上げます。

○西村町長 皆さん、おはようございます。本日は令和5年度第3回総合教育会議を開くべくご案内を申し上げましたところ、大変お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。平素よりこの町の教育の推進に皆様方には大変ご協力、ご支援をいただいておりますこと、お礼申し上げます。

来月には卒業式、卒園式、4月には入学式、入園式があります。新型コロナが5類に移行して初めての式になりますが、コロナ前と比べて縮小した形になると思います。大変お世話になりますが、よろしくお願い申し上げます。

また、教育長人事に関しましては、教育委員の皆様方には大変なご負担とご心配をおかけしております。今後、速やかに議会へ提出をしたいと考えております。

本日は、議題として2つの項目を予定しております。毎回ご報告しています児童生徒の問題行動の当町の現状について、令和6年度の予算編成についての2件を予定いたしております。有意義な会議となりますよう格段のご配慮を賜りますことをお願い申し上げます、冒頭のご挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

○吉田課長 ありがとうございます。

この後の進行につきましては、西村町長でお願いします。

○西村町長 それでは、次に移りまして、協議事項として、(1)児童生徒等の問題行動について事務局よりご説明をいただきます。よろしくお願いします。

○樹岡参事 失礼いたします。それでは、資料の1ページをお開きいただけますでしょうか。問題行動・いじめ・不登校の推移等につきまして説明させていただきます。

令和5年度の新温泉町の刑法犯行為と虞犯行為ですが、表が示すとおり小学校も中学校も零となっております。引き続き、刑法犯行為、虞犯行為が起らないよう、町教育委員会と学校が連携しながら取り組んでまいります。

続いて、いじめの認知についてです。本町の実態を見ますと、令和元年度までは全国の傾向と同じく認知件数は増えていました。しかし、令和2年度は減少し、令和3年度、令和4年度は、また増加しています。令和5年度は、顕著な増加は見られませんが、引き続き児童生徒に寄り添った指導、支援を学校と連携しながら充実させていきます。

続きまして、いじめに関して、いじめの態様ですが、一番多いのは、冷やかしからいじめ、悪口や脅し文句、嫌なことを言われるということで、31件となっております。2番目は、軽くぶたれたり、金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。ここでは持ち物を隠される等も含まれています。

次に、いじめの発見のきっかけについてです。一番多いものは保護者からの申告で、2番目に多いのがアンケートや教育相談となっております。この結果から読み取れるのは、いじめの早期発見、早期対応のために家庭との連携は欠かせません。家庭のみな

らず子ども相談室等との連携を強化してまいります。

続いて、不登校、長期欠席についてです。本町におきましては数年間の結果を見ますと、顕著な増加というのを防いでいる状況です。運用開始から3年目となる新温泉町適応指導教室や学校、家庭とも連携し、児童生徒一人一人の状況に合わせた指導、支援により自立心や社会性を育て、学校復帰等を図っていきます。また、不登校だけでなく、長期欠席を含め、スクールソーシャルワーカーや豊岡こども家庭センターとの関係機関とも連携を強化してまいります。

子どもたちが自立した個人としてひとしく健やかに成長できるよう、町教育委員会としても取組を強化していることをお伝えし、私からの説明を終わります。

○西村町長 ありがとうございます。樹岡参事、適応指導教室のことがあったのですが、現状をもう少し説明してもらえませんか。

○樹岡参事 適応指導教室に関しましては、全国でも成果が現れております。そのため、国では令和5年3月31日、誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策についてということで、適応指導教室を強化して、教育支援センターとして充実させるように言われております。

本町では、指導主事が電話等の相談に乗るだけでなく、各学校に訪問しながら不登校の未然防止に努めています。また、近年は、夢が丘中学校に不登校の加配教員を配置しております。浜坂地域の子どもたちは浜坂にある適応指導教室に通いやすいのですが、温泉地域の子どもは通にくいという現状がございました。その辺りも改善しながら前に進めているところであります。

○西村町長 具体的な利用の状況は分かりますか。

○樹岡参事 相談件数に関しましては、昨年度で約80件。

○西村町長 多いですね。

○樹岡参事 適応指導教室に実際に通っている生徒は、今年度1名ということになっております。以上です。

○西村町長 通っているのは、1名。

○樹岡参事 そうですね。年々いろんな対応を取っておりまして、今年度は1名ということになります。

○西村町長 前は三、四人通っていたと思うんですが、今年度、案外少ないですね。ありがとうございます。

宮口職務代理者、何かご質問は。

○宮口教育長職務代理者 私は定例会等で報告を聞かせてもらったり意見を言ったりはしていますが、いじめの問題では波があるかなと。学校のほうでも不登校の問題、いじめの問題には相当力を入れてアンケートとか、あるいは子どもからの聞き取りとか、親からの報告とかということでやっていますけれども、以前とは違って、今はちょっとしたことで、これは本人がいやだと感じたらいじめと捉える。そういう関係もあるのかなと思ったりはします。

○西村町長 令和元年から増えているのは、いじめの定義が変わったんですか。

○樹岡参事 いじめの定義は、数年前まで変わる年が続きまして、学校現場も混乱を生じていたことも事実です。その辺りは現在では研修等で周知ができておりまして、今は落ち着いてきた感じがございます。

○吉田課長 今、積極的な認知ということで、早期発見、早期対応を行っています。早期発見で対応することが非常に大事なんだなということで、全国的に対応が進んで、増加傾向になったということです。

○西村町長 そのほか、山本委員。

○山本委員 いじめの態様の中にパソコンや携帯電話等で誹謗や中傷のメールという項目があって、本町においては幸いなことにそんなに多くはないですが、全国的に見てこの問題は非常に気づかれにくいとか、親が関与しにくいということがあって、大きな問題になるケースがあるので、今後もこういったところが増加しないように、現場の先生方には目を光らせていただけたらなと思っています。

生徒指導というのはいろいろな場面に関わってきますので、どこか1つに力点というのではなくて、全般的に広く見て、生徒指導が行われていったらいいなと思っていますし、不登校についても、非常に事務局や学校現場がよくされているというのは定例の教育委員会の中でもお聞きしています。今年度は、ひょうご不登校対策プロジェクトが進んでいて、各学校で不登校対策プロジェクトの対策支援プランを策定して、児童生徒に対応していくという方針が示されています。本町の不登校の数は減少傾向にあり、成果が現れている。適応指導教室の運営もそうですし、各学校現場の努力が、数値になって現れていると思います。

最近はGIGAスクール構想ということで、家庭にしながら学べるという、タブレットを活用して、学校に行きにくい子どもさんにはそういう支援もやっておられる学

校もあると思いますので、いろんな面で、町の教育委員会をはじめ、学校現場は支援をされているなということをいつも聞かせていただいています。本町の場合はそれがちゃんと成果が出て落ち着いているのかなと考えています。

○西村町長 ありがとうございます。SNSでのいじめというのはここに入っていますか。樹岡参事。

○樹岡参事 今、いじめに関するSNSの問題のご質問をいただきました。本町でも事例はございます。特に学校現場の先生方も保護者も見えにくいという大きな問題がありますので、最近では保護者に危機感を持っていただくために、入学説明会で情報に関する研修会を兼ねて行うような工夫をさせていただいているところです。また、子どもたちへもその危険性というのは十分に周知するように動いております。

○西村町長 GIGAスクール、タブレットを使った自宅学習について、現状はどうですか。

○樹岡参事 今、ご質問のありました不登校の子どもたちへのタブレットの活用ということですが、校内の教育支援センターという部屋でタブレットを活用し、学べるような環境があります。また、学校によっては授業の様子を配信して、自宅でその画面を見ながら勉強しているという事例もございます。

○西村町長 学校における利用状況はどうですか。

○樹岡参事 授業の中では1人1台タブレットを配置しましたので、活用していただいていると思いますが、ただ、効果ある内容になっているかという点、まだまだ課題もありますので、その辺りは今後研究しながら進めているところです。

○西村町長 課題というのは教えるほうの課題ですか。

○樹岡参事 教え方もありますし、使い方もある、いろいろな課題があります。

○西村町長 分かりました。ありがとうございます。村尾委員、どうぞ。

○村尾委員 一人一人いろんな問題は違うんですけど、手厚く考えていただいているなと感じております。

それと、子どもたちはもちろんですけど、保護者への対応だったりとか、安心感というか、そういう方向性が見えるような対応をしていただいているなということも感じていて、一人一人に合った対策というのが見えてきている。

それから、そういう専門職の配置という点ではまだまだ課題はあると感じます。

一つ一つの事例を大切にしながら見直し、皆さんが協力してこれからも頑張ってい

ただけたらなと思います。

○西村町長 ありがとうございます。全国的に、学校に行かなくてもいいよというような風潮が強くなっていませんか。

○村尾委員 以前は、家族も必死になって行かそうとして、先生も学校に連れていかなきゃいけないということで、子どもたちにとってはすごい圧迫感を与えているような対策が主だったと思うんですけど、今はその子に合った対策ということで、全国的にもいろんな事例が出てきて、そうした事例が皆さんに周知されてきて、今はしんどいんだったらちょっと休んで、元気が出てきたら次のステップに進んでいける。そうすることで成果が出てくるのではないかなという流れになってきていると思います。

○西村町長 世間一般で不登校に対する寛容な流れが出てきているような感じもありますよね。ありがとうございます。阪本委員、どうですか。

○阪本委員 いじめの認知に関しては、ささいなことでも訴えられる状況にあるということがすごく大事だと思っていて、言っても取り合ってもらえないとか、みんな諦めて言えない、でも、自分だけで悩むというふうな状況にならないということがすごく大事だなと思っています。細やかに対応されているから、アンケートでもちゃんと訴えがあったり、保護者からの申告や友人からの情報も入ってくると思うので、いうことがすごく大事だなと感じています。

自分も子どもがいるので、先生の対応について保護者から聞くことがあって、やっぱり丁寧に、後々関係性も悪くならないように気をつけながら、見守りながら対応してくださったとお聞きしたことがあったので、受け止めが本当に大事なことだなと思っています。

不登校に関しては、いろいろなケースがあって、ケースごとに対応していくということは本当に大変なことですけども、このことに対してもしっかり対応してくださっているということは感じています。

ただ、適応指導教室の利用が1人ということですが、そういう居場所があるということが重要で、別室登校とか、放課後登校とか、いろんな選択肢があって、ここなら自分はできるかなという、選べるということがすごく大事だと思っています。数だけでは一概に言えないと思っています。

○西村町長 ありがとうございます。いつでも相談が気軽にできるような、そういう体制があればいいなと思っています。ありがとうございます。

また、その他でご意見をいただきたいと思いますので、次の（２）令和６年度の予算編成に向けてについて、こども教育、生涯教育から説明をお願いいたします。

○吉田課長 それでは、こども教育課の関係を説明させていただきます。主に新規と拡充の部分を説明させていただきます。新規の事業としまして、第３期子ども・子育て支援計画策定事業でございますが、現在進行中の第２期の計画が令和６年度で終了ということになっておりますので、次の計画策定を令和６年度で進めさせていただく予定にしております。

こちらにも新規事業ですが、病児・病後児保育事業につきましては、保護者が就労等の理由にあつて、子どもが病気した際に保育をしていただける場所の確保ということで、新規事業として来年度から取り組みたいと考えております。開設場所につきましては、小児科医院でありますあおぞらこどもクリニックさんに隣接した場所で開設をしていきたいと考えております。

次に拡充事業ですが、教育支援センター開設事業でございます。悩みを抱えている子どもさんや保護者の方に対する相談体制を含め、適応指導教室の機能を拡充し、いろんな部分で悩みを抱えている方の窓口として、適応指導教室を教育支援センターに改名しまして、事業の拡充をしていきたいと考えております。

次も拡充事業ですが、教育活動支援員配置事業と不登校児童生徒支援員配置事業の２つ書かせていただいております。不登校児童生徒支援員の配置は、県の不登校対策の事業で、県の補助を受けての配置を考えております。現在、スクールアシスタントという職名で学校内で支援を行なう職員の配置をしていますが、そこに不登校の児童生徒の支援や、長期休業中の放課後児童クラブの支援員の支援といった機能も加えまして、職名を教育活動支援員に改め、来年度以降、活動していただきたいと考えております。

次に新規事業ということで、浜坂中学校ランチルーム空調設備改修事業ですが、老朽化によりまして不具合が生じておりますランチルームの空調の改修工事を行うというものでございます。

こども教育課の事業につきましては以上でございます。

○西村町長 ありがとうございます。では、続いて、生涯教育、お願いします。

○西脇課長 生涯教育課につきましても新規事業、拡充事業を中心に報告させていただきます。

まずは文化財関係ですが、日本遺産地域活性化事業です。定例教育委員会でも報告をしていますとおり、令和5年12月15日に文化財保存活用地域計画が文化庁に認定されました。その中で文化財を活用していくということが大きく言われており、観光面でも生かしていくということにもなります。ここは商工観光課と連携をしていく事業にはなりますけども、日本遺産、麒麟獅子舞、北前船寄港地・船主集落の言葉があります。それをより一層拡充していきたいと思っています。また、北前船寄港地の回船問屋の家屋の活用計画の検討を現在行っておりまして、ぜひ進めていくということにしております。

次に拡充事業ということで、新温泉町文化財保存活用地域計画事業でございます。策定が終わりましたので、今後は進捗管理をしながら令和8年度までその計画を活用して事業を実施していく必要があります。計画の活用に向けた委員を設置してしっかり具現化していくということになります。文化財行政の機能強化というところでもお示ししましたとおり、地域協議会をつくるということになります。また、文化財の関係の資料につきましては、各地域、地区に出向いて説明に伺い、しっかりと文化財行政を進めていきたいと思っています。

次も拡充事業でございます。地域おこし協力隊事業ということで2件、地域おこし協力隊を募集いたします。1件目は、文化財関係で継続募集となります。残念ながら令和5年度には応募がありませんでしたが、令和6年度の配置を目指しているところです。

また、新たな募集としまして、生涯学習活動推進担当を迎え入れたいと思っています。その目的としまして、地域において生涯学習事業の拠点である地区公民館の在り方が問われてきています。人口減少、高齢化により地域が疲弊している中で地区公民館の在り方も課題になります。そういった課題に対しコーディネートする人間を配置し、地域と共に検討していく必要がありますし、専門的知見を持った方をぜひ迎え入れて、公民館をはじめ、地域を支援し、地域における生涯学習推進体制の再構築を図っていききたいと思っています。こちらにつきましては、企画課の集落支援員さん等と協力できればと考えております。

次は新規事業になりますが、「大相撲浜坂場所」開催支援事業になります。令和6年4月2日という年度当初の事業になりますけども、相撲のまち新温泉町のPRと相撲文化の普及啓発を図るということで、初めての事業になりますけども、大相撲浜坂

場所の開催を支援したいと思っています。具体的には、浜坂中学校を無償で貸し出す、また、備品関係、それからマイクロバス等、そういった数々の支援をすることになります。また、前日、当日には町職員等30名ずつを動員し、しっかり側面支援をしていくということにしております。現在、既にチケットは完売しているようですし、すごく皆様、楽しみにしていただいていますので、しっかり支えていきたいと思っています。大相撲の皆さんがたくさん来られるということで、体育館の床が少し不安だということで、浜坂中学校と調整しながら床下に補強材を入れる方向で調整しているところです。

次に、夢ホール自主事業です。継続事業ではありますが、その中で、今年、宝くじ文化公演が実施できることになっております。この事業は著名な芸能人の方を呼べるということで、10年ぶりの実施となります。こちらもしっかりやっていきたいと思っています。

次も継続事業にはなりますが、国際交流事業です。中学生の海外研修でございますが、新型コロナウイルス感染症の影響により5年間実施できなかった状況が続きましたが、それを5年ぶりに再開をしたいと思っています。現在、浜坂中学校、夢が丘中学校、両校の連携先であります学校と調整を行いながら、具体的な日程を調整しているところであります。今後、生徒を募集していくということになりますけども、5年ぶりの再開に当たりまして、すごく大きな変更があります。それは、連携校からぜひ2年に1回でお願いしたいという要請があり、これまで毎年研修に行っていたものを隔年の実施に変更するというものです。なので、募集については2年生、3年生を同時一括募集するということで、夢中、浜中を合わせて16名の募集をする予定にしています。令和6年度に実施すると、令和7年度は休みとなります。また、同じように、受入れについても2年に1回の受入れということで、令和6年度には両校の連携校が来日し、夢が丘中学校、浜坂中学校が迎え入れるということになりますので、令和6年度は学校にとっては対応が求められる年になります。隔年になりますので、オンライン交流などで継続的な交流を進めるとともに、イングリッシュキャンプなども絡ませて、英語教育、国際理解、国際意識の醸成を図るということを具現化していきたいと思っています。生涯教育課は以上となります。

○西村町長　ありがとうございます。それと、浜坂高校では来年度から修学旅行の行き先を台湾に変更するようです。

○吉田課長 漏らしていました。拡充事業として、浜高支援協議会への補助金の増額を予定しています。

○西村町長 来年度事業につきまして、皆様からご意見をいただきたいと思います。宮口職務代理者、どうですか。

○宮口教育長職務代理者 これだけの行事を行うって本当に大変だと思います。私も今、教育長の代理としていろんなイベントに顔を出させてもらうことが多いんですけども、本当に大丈夫かな、人が足りるのかなと思うぐらいで、いわゆるよく言われる働き方改革から逆行しているんじゃないかなと思うぐらいです。人を集める事業とか、いろんな委員会だとか、大変だなということを痛切に感じます。生涯教育課長は全ての行事の責任者になりますし、イベントには顔を出していく。そういうことになってくると、体は大丈夫かなと本当に心配します。これは生涯教育だけじゃなしに、こども教育課も併せてすごく感じます。事業をするには、準備が1日や2日でできるものではありませんし、場合によっては何か月も前から準備していかなければならないと思うんです。そう考えると人員が足りているのかなと思いますし、そういったところを手厚くしていただけたらありがたいかなということをすごく感じます。

○西村町長 ありがとうございます。西脇課長、人員体制はどうですか。

○西脇課長 本当に大きな課題だと思います。自治体規模が小さい中でカバーする範囲が広いので、そこは宿命だと思ってやっておりますが、できれば副課長級としっかり役割を分担しながら管理ができたらというのは理想ではあるかなと思います。あとは、うちだけではなくどの職場も厳しいと総務課長から聞いています。そうになると、やはり適材適所を考えて職員を配置していただくことである程度はカバーできるのではないかと思います。要となる職員を何人か配置していただけるとありがたいかなとも思います。

○西村町長 今、こども教育と生涯教育、場所が分かれてそれぞれがやっとなんですけど、そういうところをもっと連携を深めて、同じフロアでできたらいいなと思っております。そういった協力体制をより緊密にしていきたいなと思っております。山本委員。

○山本委員 こども教育課の拡充事業で、教育支援センターの説明がありました。これの前身だった適応指導教室は、4年前に初めて本町に開設されたということで、他市町ではもうその頃にはこういった教室があったんですけど、少し遅れて設置されて、

それが今回機能を拡充して、教育支援センターとして多くの児童生徒や保護者のお役に立てる、そういうセンターになるということは非常に意味のあることだなと思いました。

生涯教育課のほうでも、国際交流事業がコロナ禍の中で中断していたものが再開されて、浜坂高校も来年から台湾に修学旅行に行かれるということで、特に本町の場合は連携型の中高一貫校をこれから進めていこうとしている中で、中学生のこういった国際交流事業、そして高等学校でまさにそれを発展的にどの子も体験できるという、一本筋の通った事業になっていくのかなと感じました。

先ほど職務代理者も言われたように、これだけの新規事業や継続事業や拡充事業をやろうと思えば、人的にも本当にたくさんの負担はあると思うんです。金銭的な面でも、教育は聖域ではないとはいえるものの、私はまちづくりは人づくりからと思いますし、新温泉町に住んでこれから大きくなっていく子どもたちに対して、学校教育、生涯教育の分野の中でお金を使っていただいて、いろんな体験をさせたり、機能を充実させたりしていただくことは本町の将来につながってくるのではないかと考えていますので、財政的にも大変だとは思いますが、ぜひ教育の分野に対してご配慮をお願いしたいと思います。

○西村町長　ありがとうございます。

今日のNHKラジオでN I S Aという株式投資のことを言っていましたけど、お金をつくるのが目的じゃない、お金は手段だと。その上にやっぱり大きなビジョンが必要だと、そういう解説をされていました。我が町はやっぱり財政力は弱いので、まず投資の前提となる資金力かなと、やっぱり資金で人づくり、まちづくりをしていきたいなと思っています。

○山本委員　給食費の無償化は、子どもにとっても保護者にとっても非常にありがたい施策だと思いますので、大変だと思いますけども、ぜひ、ご尽力ください。

○西村町長　ありがとうございます。村尾委員、どうぞ。

○村尾委員　宮口代理者が言われましたように、両課長さんはじめ、どこの課もそうだと思うんですけども、職員が少なくなっている中でいろんな事業を進めていかなきゃいけないし、準備も本当に大変でしょうし、課長さんの責任というのはとても大きくて、大変ご苦労されていると日々感じております。

そして、教育の関係では、学校と地域との結びつきというのが、コミスクがうまく

全校に広がったことで、学校からしばらく遠ざかっていた方も自分たちの思いも伝えられるし、自分たちができることを何とか学校に協力する意識づけができてきているのかなと思っています。

○西村町長　ありがとうございます。コミスクはこれから大きな鍵を握っていると思います。

○村尾委員　そう思います。

○西村町長　課長からコミスクの現状を説明してもらえますか。

○西脇課長　新温泉町については、コミュニティ・スクールは地域学校協働推進員と学校運営協議会という協議の場をつくってきたという経過があります。照来小学校、そして浜坂南小学校を拠点に３年間しっかり地域の方々と話をして進めてきました。一方で、限られた教育関係者であったり、地区公民館関係者のところでしか周知ができていないという大きな課題がありますので、今後、地域に入って、地域の住民の皆さんにこういうふうに協議をする場ができましたよとか、地域協働活動推進員というつなぐ役割の方がいますよというようなことを周知していく必要があると思います。

○西村町長　コミスクの具体的な事例として、何かありますか。

○西脇課長　照来小学校でいうと、ウォークラリーを実施して、学校の先生方、それから保護者、それから児童生徒も、一緒になって地域を回って、地域にどういうものがあるのかということを楽しみながら知るといった活動をしています。それは、学校運営協議会の中でやりましょうと決めて、地域学校協働推進員、集落支援員がつなぎ役となって実施できたということで、すごくいいモデルになっています。

○村尾委員　照来の各集落のいろんな地域事業があって、そことの結びつきがあったり、学校の発表会のときには地区公民館の展示会を一緒にしたんですけど、地域の人があるいろんなものを出品してくださって、そうすることで地域住民も来やすいし、学校の保護者からすれば自分たちのことだけでなく、おじいちゃんおばあちゃんも誘ってとか、隣近所を誘ってとか、学校と地域の住民がすごく結びつきやすいとか、会議ではいろんな意見も出てきますし、自分たちの地域のつながりが広がっていくのかなと思うので、今後もそういう事例をどんどんと教えていただきながら進めていけばと思いますし、自分たちは何ができるかなというのをみんなが考えていくということが大事かなと思います。

○西村町長　来年度、照来小は児童が５０人を割りますから、そういった意味では、

もっともっと照来地区もコミスクを中心に頑張ってもらって。

○村尾委員 子どもが減るのはしょうがないんですけど、今年、150周年事業をします。そのことで今地域が盛り上がりをしてきているので、それこそ、おじいちゃんおばあちゃんでも来れるように、いろんな事業とマッチングしていけばいいのかなと思うんです。

○西村町長 新温泉町は2050年には53%人口減少、5割以上減するという厳しい予想が出ています。そういう予測に対して、少しでも減らないような施策をやりたいなと思っております。そういうことで、予算を有効に使って頑張りたいと思っております。

その他のほうに入りたいと思います。事務局より、報告は。

○吉田課長 事務局からは特にはありません。

○西村町長 委員の皆さんから何かありましたらお願いします。山本委員。

○山本委員 町長さんに直接お出会いしてこんな話をするのも少ないので、あえて、僭越ですけども言わせていただきます。職務代理者がここにおられて申し訳ないんですけど、今不在になっている教育長の人事のことです。もう既に議会で何度もそのことに対して答弁もされて、心積もりもお持ちなんだろうと思いますけど、どうぞ一日も早く、議会に対してご提案いただきたいというのが教育委員みんなの思いですので、ぜひとも、よろしくお願いします。

○西村町長 この3月定例会が今月末から始まります。3月定例会には出したいと思っております。大変遅くなって申し訳ありません。

その他について、ほかになれば本日の会議を閉じたいと思います。

本日いただきましたご意見は、次のこども教育、生涯教育に生かしていきたいと思っています。今日は、大変貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。あと、

以上をもちまして第3回新温泉町総合教育会議を終わります。誠にありがとうございました。

閉会 午後0時30分
